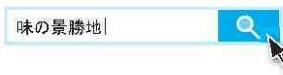


味の景勝地研究会／味の景勝地連合（仮称）
公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター
〒869-2612
熊本県阿蘇市一の宮町室地 2402
熊本県阿蘇郡今市町
TEL 0967-22-4801 FAX 0967-22-4802
E-mail : info@asodc.or.jp
URL : <http://www.asodc.or.jp>

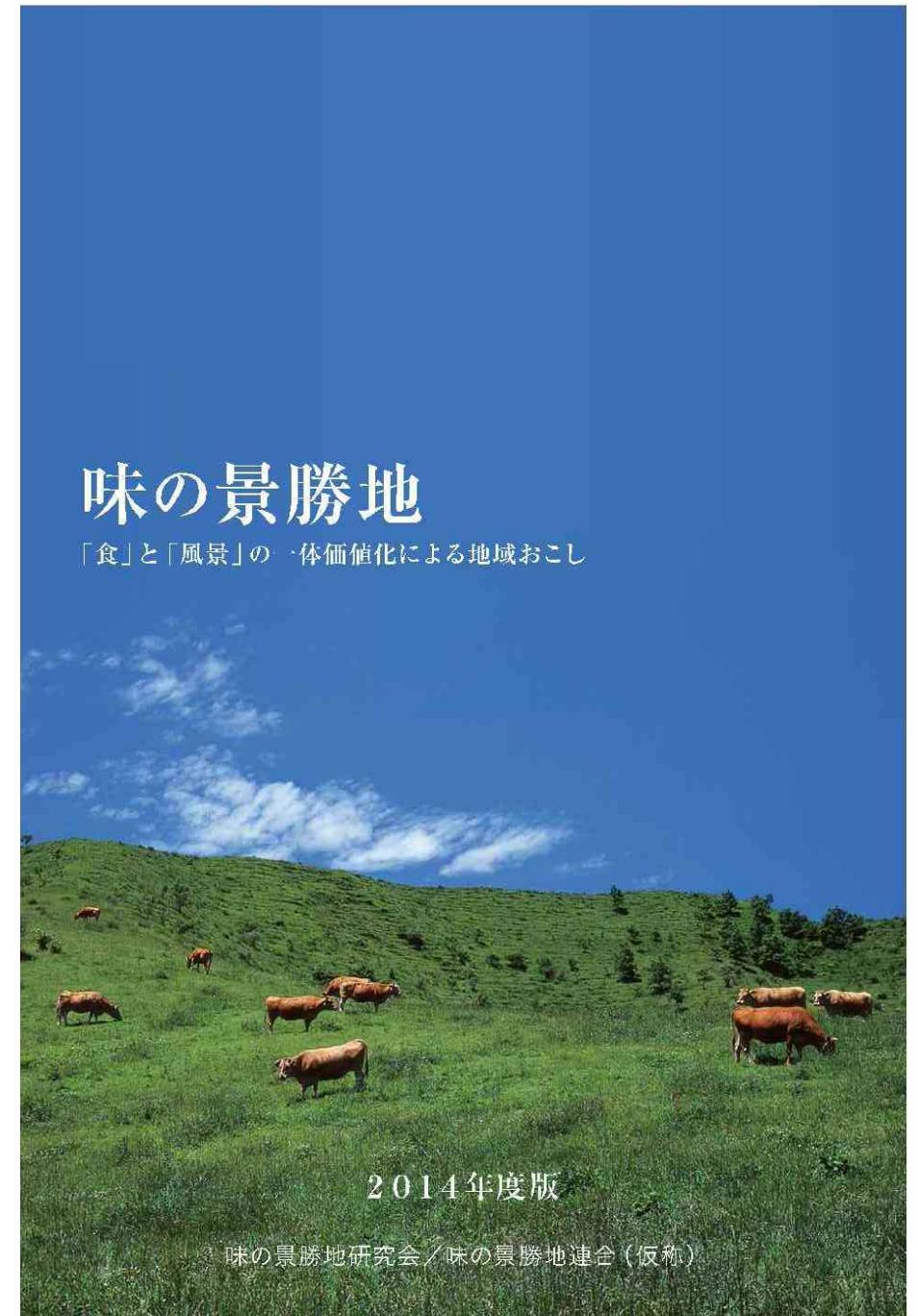


味の景勝地

「食」と「風景」の一体価値化による地域おこし

2014年度版

味の景勝地研究会／味の景勝地連合（仮称）



いとなみが**風景**になる **風景**が**味**になる

日本の中山間地域は、自然生態系のみならず、里地と都市との生活基盤を守る重要な役割を担っています。伝統文化や景観の形成はその表われと見えます。

効率一辺倒の大量生産品に抑されるだけの日本の農畜産業ではありません。良品に关心を示し、購入というかたちで支払してくださる方が日本に、世界にいらっしゃいます。

「味の景勝地」が中山間地域で営まれる農畜産業を円構築します。地域経済を驚き起こします。魅力的な「食」と、それを生み出す傑出した「風景」とが一体を成し、生活者、旅行客に信頼と安らぎを提供します。



味の景勝地とは？

地域振興のための、これまでにない価値認証の仕組みです。

日本には美味しい食や美しい風景に対する認証制度は存在します。

そこに新風を吹き込むのが「味の景勝地」です。地方色豊かな美味しい食と、その食を支える景観が切り離すことのできないものであり、その複合効果が商品のイメージを形づくり、付加価値を高めます。

そして食に魅惑された生活者の旅ごころを揺さぶりおこす仕組みなのです。

志しある生産地の「食」と「風景」を一級品として味の景勝地連合（仮称）が担保します。



フランスの取り組み

味の景勝地は
フランスの「Sites remarquables du gout」という
認証制度を模範としています。

「Sites remarquables du goût (以下、SRG)」は、地域に特徴的な产品と風景との相乗効果を達し、以下のようなツーリズム振興を目的とした農業大臣が主導する大規模な認証制度です。

- 産地イメージの向上
- 生産者と消費者の関係を身近なものとし食文化を推進
- 地域全体のプロモーション／地域振興

全国 SRG 連合会と農業省や文化省、観光省、環境省が協力して、以下の4つの要件を満たす地域を認定しています。現在 50 強の地域が認定されています。

- 伝統的、かつ特徴的地域产品の存在
- 建物や景観など、产品と関連した特徴的「ヘリテイジ（自然や文化遺産）」の存在
- 滞在施設や遊歩道などの旅行客の受け入れ体制の整備
- 上記の相乗効果を保証するため、地域の関係者が組織されていること



味の景勝地連合（仮称）について

「食」と「風景」の一体化による高付加価値への認証を行ない、地域振興を図る組織です。

味の景勝地研究会を通じて理念を一にした各地のグループが現在「味の景勝地連合（仮称）」の構築に向けてネットワークを広げています。全国的なつながりで基盤を強固にし、世間での認知度を高めることで「味の景勝地」が信頼のブランドとなり、認証を受けた地域・産品が高い付加価値を得ることを目指します。

「味の景勝地連合（仮称）」は事務局機能を有し、予備地域の選定、指導／監修、審査／認証、品質保証、ブランド管理等を行ないます。

味の景勝地連合の構成イメージ



6000万人の消費者調査からみたフランス人の料理（出典：6000万人の消費者）

- 80%の消費者が、自然食品をもっと多く食べたいと思っている。
- 63%が、化学薬品や加工食料がないことが重要だと考えている。
- 48%が、生産者を知りたいと思っている。
- 73%のフランス人は、彼らがフランス原産の製品を重視すると言っている。
- 69%が、地元の製品をなるべく貢うようにしている。
- 62%が、最近の食品不祥事以降、認理済み食品を食べるのを減らしている。
- 21%が、商品のラベルで「安心」している。
- 62%が、大手メー・カ・の「グリーン」スピーチについては疑問である。
- 89%が、また、それは単なるイメージ効果に過ぎず、品質や環境保護の説明ではないと考えている。
- 83%が、健康によりよい食事をとるように気を使っている。
- 82%が、自然食品は高すぎると考えている。

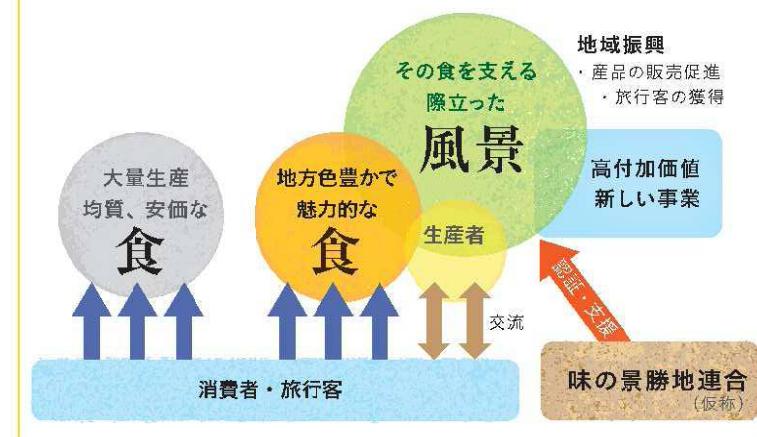
味の景勝地の目的は？

志しある生産地が「食」と「風景」をつなげ、付加価値をつけることで、地域振興と新しい事業様式（ビジネススタイル）を生み出していくこと。

日本の「食」を取り巻く現状



味の景勝地が目指す姿



味の景勝地 を推進する地域・団体

以下の地域が「味の景勝地研究会」へ参加し、
「味の景勝地連合（仮称）」構築の合意を取り交わしました。



研究会での主な検討内容

- 第1回 研究会** ノランスIRG研究報告と解説
日本での展開を想定した取り組み課題の抽出
研究会参加者による課題解決の共創
- 第2回 研究会** 「味の景勝地」における「食」の規制方法について
「味の景勝地」における「風景」の規定方法について
「食」と「風景」の結び合わせ方について
- 第3回 研究会** 「味の景勝地」における「食」と「風景」の一括化について
「味の景勝地」憲章(案)について
ウェブサイトの活用について

今後の取り組みについて

「味の景勝地連合（仮称）」構築へ向けた会合とともに、
以下のような活動を予定しています。



- ネットワークの構築と体制の強化
- 関係する省庁や行政等の支援制度の利活用
- 認証方式、ブランド管理の検討
- 生産品の販路開拓とツーリズム開拓

また、今後「味の景勝地」の規定条件を設定していきます。

味の景勝地憲章（草案）

- 景観や建物、文化的遺産構造物に表われる地域特有の食にかかる風土を有する。
- 伝統を誇り名声に値する特徴的な地域農産品あるいは生産活動がある。
- 旅行客に対し食・景観・生産者のつながりを理解させられる受け入れ態勢がある。
- 上記3つが相乗効果を発揮する農業・観光・文化・環境に関わる人々の組織がある。





「味の景勝地」で
みなさんの地域も強い農業の創造へ。

「味の景勝地」の規定条件(草案)にあてはまる地域、
あてはまる地域を目指したい方々、
ぜひお問い合わせください。

■ ■ ■ お問い合わせ・参加お申し込み窓口 ■ ■ ■

味の景勝地研究会／味の景勝地連合(仮称)発起人幹事
公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター 担当:國谷

〒869-2612

熊本県阿蘇市一の宮町宮地 2402 熊本県阿蘇総合庁舎内

TEL.096/-22-4801 FAX.096/-22-4802

E-mail : info@asodc.or.jp URL : <http://www.asodc.or.jp>